

(一社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562 FAX(053)925-6468
 電子メールアドレス jimuty@tenkenkyo.net ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>
 編集・発行 広報委員会 題字 長谷川智彦



新宮神社[祇園祭]

浜松市天竜区春野町和泉平の新宮神社で7月22日、23日に祇園祭が開催されました。新宮池に浮かぶ舟屋台が幻想的で、来場者を魅了しています。

CONTENTS

協会ニュース	2
特集 今天竜区を盛り上げる! 地域で奮闘するキーマンが集まる	4
ちょっとおすすめグルメ/かんとくさん	6
建設ギャラリー/最近のキーワード	7
コーヒーブレイク/やじろべえ	8

上期

協会ダイジェスト

令和5年度定時総会を開催

5月22日に定時総会を開催しました。長谷川会長は、冒頭の挨拶の中で、「昨年の台風15号等による災害への応急復旧対応に対し、浜松市長より協会へ感謝状が贈呈されることとなった。協会としては3年連続の受贈であるが、一般の皆さんには我々のこうした活動が知られていない。県建設業協会では昨年から「建設災害応急支援隊（C-DETECT・シーデイスト）」の名称でPRしようということになったので、会員の皆さんにも活動の様子を写真等で記録し提供していただきたい。また、働き方改革やDX推進、盛土規制への対応などの建設業を取り巻く課題に対し、協会を中心として取り組んでいきたい。」と話しました。

議事に入り、令和4年度事業報告、令和4年度決算案が審議され、いずれも満場一致で可決されました。



長谷川会長

安全祈願祭・安全大会を開催

工事故の撲滅を誓う

7月4日に協会と建災防天竜分会は、来賓・会員38名の出席のもと、秋葉神社上社において令和5年度安全祈願祭・安全大会を開催しました。

長谷川会長が、「昨年度は県内で30件の死亡事故が発生し、うち建設業は12件で前年より2件増加している。今年度は災害復旧工事が主になるかと思うが、『まさか！』『何で！』の事故が発生しないよう会社全体で注意深く、慎重な作業をお願いしたい」と無事故・無災害を呼び掛けた後、表彰式を行い、優良事業所表彰では(株)森下組、(株)西村組、(有)藤田建設の3社が表彰されました。また、会員から応募のあった安全標語65作品の中から、優秀作品として次の3作品が表彰されました。

- 安全は 1人1人の 心がけ
目くばり 気くばり 思いやり
(清水美鈴 龍川建設(株))
- 災害は 慣れと油断と過信から
違う目線で 安全確認
(鈴木信和 (株)片桐建設)
- 見直せば
見えない危険も 見えてくる
その手を止めて 再確認
(高柳尚生 (株)渡辺兄弟工業)

浜松市から感謝状受贈

令和4年度に発生した台風15号などの災害復旧に大きく貢献したとして、7月7日、浜松市長から協会のほか、会員9社に対し、感謝状が贈呈されました。



感謝状贈呈式



秋葉神社上社での安全祈願祭

Word講習会を開催

7月25日及び26日にIT委員会による「Word講習会」が開催され、2日間で合わせて18名が受講しました。25日は初級者を対象にWordの基礎を、26日は中級者を対象に実務に活用できるような書類提出を想定した文章作成などを学びました。

普段から自己流でWordを使っていた方からは、「理解していたつもりだが、こんな便利な機能があるとは知らなかった」、「次はExcelの講習をやってみたい」などと大変好評でした。



Word講習会

足場の組立て等作業主任者

能力向上教育を開催

8月8日、「足場の組立て等作業主任者能力向上教育」が開催され、29名が受講しました。

受講者は、「足場の組立て等作業主任者技能講習」を修了した方々のため、安全に対する意識が高く、熱心に聴講されていました。



足場の組立て等作業主任者能力向上教育

長谷川会長が建設事業功労者 国土交通大臣表彰を受賞

長谷川智彦会長が建設業に対する長年にわたる功績を認められ、建設事業功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。

7月10日に国土交通省で開催された表彰式で、石井副大臣から表彰状が授与されました。



長谷川会長

夏休み親子現場見学会の実施〜4年ぶりの実施〜

8月2日に「夏休み親子現場見学会」を実施しました。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、ここ3年開催を見合わせていたことから、4年ぶりの実施となりました。

天竜区内の各小学校をはじめ、会員や関係行政機関等に参加募集のチラシを配布し、参加の呼びかけを行いました。定員40名に対し、参加者は6組16名と少数による見学会となりました。

午前中は、津波対策のため馬込川河口に建設中の「水門」を見学。はじめに静岡県浜松土木事務所の方から、水門の役割や仕組みについて説明を受けました。

その後、VRで水門を体感する予定でしたが、当日は機器の不具合で使用できず、代わりに現場で使われている建設機械の試乗体験をしました。子どもたちは、最初は緊張気味でしたが、機械が動き出すと笑顔で試乗を楽しんでいました。

午後は、浜松科学館を見学。「光」「音」等とゾーン分けした体験エリアを楽しんだり、「サイエンスショー」やプラネタリウムドームで上映中のプログラム

を大型スクリーンで見たりして過ごしました。

【子どもたちの感想】

・防潮堤や水門が出来ることによつて、海の近くに住んでいる人は安心して暮らせると思っています。

・水門の扉が、地震が起きたらすぐに自動で落ちるのがすごいなと思いました。

・シヨベルカーに乗ったのは初めてで、とても不思議な感覚がして楽しかったです。

・浜松科学館のサイエンスショーを見て、家にある物に少し工夫を加えるだけで簡単に実験ができるのがすごいなど感じました。など



県職員から工事の説明



浜松科学館（サイエンスショー）



集合写真（ドローン撮影）



試乗体験

今天竜区を盛り上げる！ 地域で奮闘するキーマンが集まる

各地域で事業に取り組み、地域を盛り上げているキーマンの方々に集まっていただき、それぞれの活動を広く周知し、これからの天竜の未来について考えるため、座談会を設けました。天竜区をそれぞれ盛り上げる、4人の「キーマン」に、それぞれの取り組みや、今後の期待について聞きました。



委員 まずは自己紹介とそれぞれの活動について教えてください。

大見氏 佐久間町出身で、中学校卒業まで佐久間で育ちました。東京の大学を経てUターンで静岡新聞SBSに入社し、浜松勤務になったことをきっかけに、人口減少が続く地元佐久間で何か活動ができればと思います。最近では会社の事業として、企業やビジネスマンの方々を



大見拳也氏

ターゲットに、佐久間ダムや近隣のカフェ、宿泊施設などで仕事をしつつ、自然の中でリフレッシュするという新しい働き方を提案する「佐久間ダム際ワーキング」を進めています。

その他にも、伝統文化の振興や、佐久間分校に通う高校生の支援などの活動を行っている、佐久間と外を繋げるような立場として、幅広く活動しています。

森氏 生まれも育ちも阿多古です。結婚を機に一度は地元を離れたものの、第2子が生まれるときに阿多古に戻ってきました。地元に戻った時に、自分が子供だった頃に遊んでいた場所が段々と失われてきていると感じ、何かできることはないかと考え始めました。

まずは阿多古の魅力を多くの人に知ってもらうために、貸別荘のヴィ



森敬之氏

ラ阿多古をオープンしました。最初は、宿を皆さんに周知することや、夏だけでなくオールシーズン通して阿多古に来てもらうために、様々な場所に足を運びました。おかげさまで集客は安定し、宿を始めて8年になりました。

そうして安定してくると、阿多古で同じく宿をしたいという人や、カフェをしたいという人などが増えてきました。今はそういった人たちを繋げたり支援したりして、地域全体を盛り上げるために活動しています。

中谷氏 二俣町でKiss&Dining山ノ舎のオーナーをしている他、天竜浜名湖鉄道二俣本町駅で1日1組限定の駅舎ホテルINNMYLIFEを運営しています。他にも山ノ舎の2階で、浜松市の中山間地域で起業したい方や、支社を持ちたい方、天竜地域の課題解決のための実証実験を行いたいという方などに向けて天竜トライアルオフィ



山田恵美莉 氏

スというワークスペースを設けて、お手伝いをしています。
私個人としては、4年前に熊へ引越し、妻と子供2人と暮らしています。中山間地域で何が起きているのか、そこで暮らしている人が何を思うのかを知るために、思い切った移住を決めました。熊地域では、地元の方々とNPO法人「耕」を立ち上げ、旧熊幼稚園をカフェに改装し、新しい地域の拠点として運営しています。

委員 山田さんは「秘密基地いもほり」の活動もしていますね
山田氏 はい。子どもたちをメインターゲットに、最近はピザ窯を作ったピザを焼いたり、竹を切つて一から流しそうめんをしたりと楽しんでもらっています。私がすべて教えるのではなく、子どもたちの「やりたい」を大切に、自発的に思い切り楽しめる環境を作っています。私は元々保育園に勤めていたこともあり、子どもうちに自然体験をすることがとても大切だと感じています。

委員 これから各地域をさらに活性化させるには

中谷氏 地域に対して想いを持って頑張っている人がいて、その人たちが続けていけばどうとでもなるんじゃないかと思えますね。

森氏 これから発展するのが、無理かと言われれば絶対にそんなことないと思います。人々にヒットする何かを持ち、呼び込む努力をし続けられ、距離や道の不便さに関係なく、人が来てくれるんじゃないかと思えます。そうなれば、天竜全体が遊びのフィールドになって面白くなっていくと思います。



中谷明史 氏

大見氏 外から見れば、天竜全体がどこも一緒のように感じるかもしれませんが、各地域でかなり個性があるなど思っていて、佐久間だったらダムのような産業遺産や独自の歴史がある。そういう個々の地域の特性を活かして発信していければいいですよ。

委員 個々が自分の地域で取り組みを続けて、今日のように人のつながりが生まれていけば、天竜区全体の活性化につながるのではと思います。今後も継続的に、活動を紹介していきたいと思えますので、よろしくお願ひします。



取材者・参加者

取材

広報委員長 (株)神田組 清水 充
広報副委員長 (有)飯島建設 飯島 雄一

参加者

静岡新聞SBS 大見 拳也氏
ヴィラ阿多古 森 敬之氏
ニューコモン商会 中谷 明史氏
浜松山里いきいき応援隊 山田恵美莉氏



ちよこ
おすすめグルメ

◆「伝七 den7」◆

東区半田町に今年2月にオープンした、「伝七 den7 (デンシチ)」さんに伺いました。

「食を通して視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚の《五感》に、食材や生産者さんに対する《感謝》と、食べた時の感動を超える《感激》を合わせた、7つの大切なことを伝える」というコンセプトから、「伝七」という店名だそうです。

今回は2種類のスープと6種類の焼き菓子を購入しました。

スープは「温かい・冷たい」を選べるようになっていました。暑い日でしたので、2種類とも冷たいスープを頂きました。「甘々娘・とうもろこしのスープ」は、磐田市の農家さんのとうもろこしをじっくりバターで炒めて作られているそうです。とうもろこし本来の甘さが活かされた、濃厚なスープでした。「ミニトマトと甘酒のスープ」は、トマトと玉ねぎをオリーブオイルで炒めて少し煮詰めたところに、甘酒を加えて作られているそうです。トマトのさっぱりとした味が、暑い日にピッタリでした。

焼き菓子は10種類以上あり、どれも美味しそうでしたが、今回

はスコーン2種類とクッキー4種類を購入しました。スコーンは「旨塩スコーン」と「レモンスコーン」の2種類。ほんのり塩味がついたスコーンはバターと小麦の旨味が口いっぱいに広がり、スープにもとてもよく合います。焼き菓子もどれもとても美味しく、その中でも私が特に気に入ったのは「アイシングクッキー」でした。ざっくりとした食感のクッキーにレモンのアイシングが掛かっていて、歯応えの良い、とても爽やかな味のクッキーでした。



求めに訪れる人が絶えませんでした。ショーケースには、旬のフルーツを使ったケーキや塩キャラメルプリンが販売されていました。そちらも皆さん購入されていたので、今度は是非ケーキを頂いてみたいと思います。



住所 浜松市東区半田町502
電話 080-7894-6705
営業時間 10時～18時
定休日 月曜日、火曜日

かんとくさん



浜松市土木部
天竜土木整備事務所
三遠南信自動車整備事務所
杉保 燿也

令和5年4月から三遠南信自動車道整備事務所へ配属となり、国道152号の現道改良事業の業務に携わっております。職場には車で1時間ほどかかりますが、時々見かける野生動物や天竜の森林など豊かな自然を日々感じながら出勤しています。

異動前は上下水道部に配属されており主に水道の漏水対応などの維持管理業務を行っておりました。過去には東区の道路工事の発注を行ったことがありますが、山間部では必要とされる工法が違うことから体験したことのない工種が多く様々な経験が積めると感じており、この大きな事業に取り組むことで技術向上に励んでいきたいと思っております。

今後も皆様にお世話になることが多くなると思いますが、少しでも皆様のお役に立てるよう日々努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

建設ギャラリー

工事名 令和4年度土木施設災害復旧事業 (一) 渡ヶ島横山線道路災害復旧工事 (4災第14号)
工事箇所 浜松市天竜区日明地内
工期 令和4年10月6日～令和5年8月31日
発注者 浜松市
施工業者 天龍土建工業(株)
工事概要 復旧延長40m 補強土壁工(テールアルメ工法)128㎡ アスファルト舗装工221㎡
ガードレール設置工40m

本現場は、令和4年台風15号により既設ブロック積の基礎部が洗堀され、被災した道路の復旧工事です。施行中には2次災害の恐れがあるため、事故の危険が高まらないよう、現場の状況をよく観察しながら、構造物の撤去工事や掘削工事を行いました。当初立案した全体工程通りに工事を進めることができ、無事施工完了に努めることができました。

《着前》



《完成》



《着前》



《完成》



最近のキーワード 「居ないと困る存在」

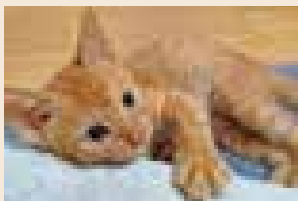
コロナウイルス感染症が5類に移行して迎えた今年の夏。うだる暑さは相変わらずだが、確かにこれまでとは違う様相を呈している。マスクのみならず、ほとんどの「自粛」が取り払われ解禁となった。

夏の甲子園では、声出し応援が解禁となり活気あふれるプラスチックに懐かしささえ感じた。そんな高校球児たちに交じってノックバットを振るある女子マネージャーが話題になった。部員が少ない野球部にあつて「何とか役に立ちたい」とバットを握った彼女。「居たら助かる存在ではなく居ないと困る存在になりたかった」と本音を明かし、周囲に感銘を与えた。

台風を含め今年も頻発している豪雨災害。被害が激甚化する一方、対策が追いつかない中、地元建設業の重要性が増している。従来のものでづくり産業だけでなく、災害対応産業ともいふべきポジションを確立した。今後、地震を含む自然災害への対応時には必要不可欠なピースとして、地域にとってはもはや「居ないと困る」存在になる。



最初のボク



今日のボク

ボクの名前は味噌(みそ)。この夏ご主人に保護してもらいました。龍山協働センターの近くに住んでいる野良ネコ一家の末っ子だったボクは、7月の猛暑に耐えられず脱水症状を起こしてしまいママから教わった「人間からは逃げる」すら出来なくなつて、7月27日にご主人に抱きかかえられました。

ご主人は、すぐさま病院に連れて行ってくださいボクのカラダに住み着いたノミを取り去る薬とネコ風邪の薬を貰ってくれて、一晩スポイトでごはんとお水を飲ませてくれました。

最初に病院で計ったお熱は36度で、先生には「衰弱しきつていて乗り越えられないかもしれない」と言われたけれど、翌日には39度にまで回復して、先生に頑張ったねと言ってもらえたよ。ご飯を自分で食べられるようになってからは毎日たくさん寝て過ごし、一ヵ月が経つた今では元気にジャンプも出来るようになって、毎日ご主人の指にねこキックをお見舞いしているよ。夜はご主人と毛布に包まって毎晩たくさん喉を鳴らしてご主人を癒しているんだよ。



ロシアがウクライナ侵攻を始めて早1年半になります。いつ終結するか全くわからない状況です。核の使用をちらつかせ、ただの弱い者いじめにしか思えません。日本も今では平和な国として通っています。かつては太平洋戦争をはじめ侵略戦争を繰り返していた事実があつて今のロシアの立場と同じではないかと感じています。勝つても負けても良いことはないと思います。ここだけではなく世界中の至る所で戦争は行われている。誰もがいけない事と分かっているはずなのに無くなる。先日NHKの番組でZ世代と呼ばれる若者たちが終戦の日に「戦争」をテーマに議論を交わしていた。16歳、20代後半ぐらゐの戦争とは全く無縁の若者たちだが実にしっかりと考えた方を持つていて感心した。我々の世代は戦争経験者から直接実話として聞くことができた。



「戦争について
独り言」
M・S

建設業界の皆様へ

建退共に参加しませんか

福祉の増進と企業の振興のための国の退職金制度です

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

建退共の掛金が電子申請で納付可能になりました！

- ◎法律に基づき運営される国が作った制度
- ◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価
- ◎国からの財政上の支援(国の助成により掛金の一部が免除)

特長

- ◎掛金は全額非課税(損金または必要経費に算入できます)
- ◎複数の企業間を就業しても通算して退職金を支給
- ◎加入の手続きは簡単(各都道府県の建退共支部で加入)

●加入できる事業主
建設業を営む事業主

●対象となる労働者
建設業の現場で働く方

●掛金は一日320円

建退共静岡県支部 〒420-0851 静岡市葵区黒金町11-7-12階
TEL 054-255-6846

建退共本部のホームページをぜひ、ごらん下さい

建退共

検索

